プログラム

10 月 29 日（土）

9：00～9：20　　開会式　　第１会場【大講義室】

……

9：20～11：00　　一般演題（口頭）1　　第１会場【大講義室】

座長：異島　優　（徳島大学大学院・医歯薬学研究部）
　　合田 光寛（徳島大学大学院・医歯薬学研究部）

O-1 がんサバイバー動物モデルにおける長期に渡る社会性の障害
○岩田 圭子[1]、尾中 勇祐[2,3]、野口 雅史[1]、橋本 均[2,3,4,5,6,7]、新谷 紀人[1,2]
[1]和歌山県立医科大学 薬学部 薬品作用学、[2]大阪大学 大学院薬学研究科 神経薬理学、[3]摂南大学 薬学部 薬理学、[4]大阪大学 連合小児発達学研究科 子どものこころの分子統御機構解析センター、[5]大阪大学 データビリティフロンティア機構、[6]大阪大学 先導的学際研究機構、[7]大阪大学 医学部 分子医薬

O-2* 副作用報告に基づいた医療ビッグデータを用いた"Triple Whammy"による急性腎障害発現までの期間解析
○國津 侑貴[1]、平 大樹[1,2,3]、森河内 彩[1]、上田 智弘[1]、磯野 哲一郎[1]、森田 真也[1]、寺田 智祐[2]
[1]滋賀医科大学医学部附属病院 薬剤部、[2]京都大学医学部附属病院 薬剤部、[3]立命館大学 薬学部

O-3 gamma-glutamyl transferase の glutamyl-cysteine に対する反応性
○中井 拓也[1]、大野 萌華[1]、村岡 未彩[1]、松浦 秀幸[1]、長野 一也[1,2]、荒井 雅吉[1]、平田 善彦[1,3]、平田 收正[1,2]
[1]大阪大学大学院 薬学研究科、[2]和歌山県立医科大学 薬学部、[3]サラヤ株式会社

O-4 スニチニブ誘発心毒性に対する新規予防薬候補の有効性の検討
○阪本 淑華[1]、友近 七海[1]、新村 貴博[1,2]、合田 光寛[1,3]、相澤 風花[1,3]、八木 健太[1,2]、西内 栞[1,3]、生田 賢治[1,3]、濱野 裕章[5]、石澤 有紀[4]、座間味 義人[5]、石澤 啓介[1,2,3]
[1]徳島大学大学院 医歯薬学研究部 臨床薬理学分野、[2]徳島大学病院 総合臨床研究センター、[3]徳島大学病院 薬剤部、[4]徳島大学大学院 医歯薬学研究部 薬理学分野、[5]岡山大学病院 薬剤部

O-5* 経口抗凝固薬DOACとリトナビルを含む薬剤の相互作用の可能性
○爲本 雄太、佐藤 洋美、樋坂 章博
千葉大学大学院 薬学研究院 臨床薬理学研究室

O-6* 医薬品安全性試験の加速化に向けた連続・固定長な病理プロファイル取得方法の確立
○水野 忠快、前寺 正太郎、楠原 洋之
東京大学大学院 薬学系研究科 分子薬物動態学教室

O-7* NanoLuciferase 技術を用いた HTS 評価系による新規 Alport 症候群治療薬候補化合物の同定
○桑水流 淳[1]、加世田 将大[1]、三宮 裕也[1]、堀園 潤[1,2]、小山 結実[1]、津波古 遥希[1]、尾脇 あいみ[1]、白神 正博[1]、佐藤 諒一[1]、Mary Ann Suico[1]、首藤 剛[1]、甲斐 広文[1,2]
[1]熊本大学 薬学教育部 遺伝子機能応用学分野、[2]熊本大学 博士課程 教育リーディングプログラム グローカルな健康生命科学パイオニア養成プログラムHIGO

O-8* 頭頸部がんにおける血清中セツキシマブ濃度と悪液質の進行度および臨床症状の関係解析
○柴田 海斗[1]、細川 誠二[2]、前川 真人[3]、川上 純一[4]、内藤 隆文[1,5]
[1]信州大学医学部附属病院 薬剤部、[2]浜松医科大学 医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座、[3]浜松医科大学 医学部 臨床検査医学講座、[4]浜松医科大学医学部附属病院 薬剤部、[5]信州大学大学院 臨床薬理学講座

（*は優秀発表賞応募演題）

……

11：10～12：10　　一般演題（口頭）2　第１会場【大講義室】

座長：西村 周泰（同志社大学大学院・脳科学研究科）
　　河野 裕允（神戸薬科大学）

O-9* ドキソルビシン誘発の骨格筋-精神障害に対する一酸化炭素搭載細胞療法の有用性評価
○野口 勇夢[1]、前田 仁志[1]、永崎 太清[1]、小林 一樹[1]、田口 和明[1,2]、柳澤 洋輝[1]、酒井 宏水[3]、小田切 優樹[4]、渡邊 博志[1]、丸山 徹[1]
[1]熊本大学大学院 薬剤学分野、[2]慶應義塾大学 薬学部 薬効解析学講座、[3]奈良県立医科大学 医学部 教養教育部門 化学教室、[4]崇城大学 先端DDS講座

O-10 Tim4によるカーボンナノチューブとポリスチレンの認識
○黒岩 美希
立命館大学

O-11* リポソーム技術の応用による Cannabidiol の生物薬剤学的特性の改善

○渡邉 健太[1]、山田 幸平[1]、八木 龍史[2]、八木 亮文[2]、力村 信吾[2]、清水 佳隆[2]、佐藤 秀行[1]、尾上 誠良[1]
[1]静岡県立大学 薬学部 薬剤学分野 、[2]株式会社バイオメッドコア

O-12* インクジェットを基盤技術とした膜透過性ペプチドによるサイトゾル送達法の創出

○大村 美香、中瀬 生彦
大阪公立大学大学院 理学研究科 生物化学専攻

O-13* Niemann-Pick病C型治療における2-hydroxypropyl-β-cyclodextrin脳室内投与療法の有効性および聴覚毒性評価を企図した逆向き橋渡し研究

○白川 愛奈[1]、山田 侑世[2]、近藤 悠希[1]、西山 麻美[1]、三輪 徹[3]、竹田 大樹[4]、折田 頼尚[4]、竹尾 透[5]、中潟 直己[6]、東 大志[7]、本山 敬一[8]、有馬 英俊[9]、関 貴弘[10]、倉内 祐樹[11]、香月 博志[11]、檜垣 克美[12]、松尾 宗明[13]、入江 徹美[14]、石塚 洋一[1]
[1]熊本大学大学院 生命科学研究部 臨床薬理学分野、[2]宮崎大学付属病院 薬剤部、[3]大阪公立大学大学院 医学研究科、[4]熊本大学 耳鼻咽喉科 頭頸部外科、[5]熊本大学 生命資源研究・支援センター 資源開発分野、[6]熊本大学 生命資源研究・支援センター 生殖工学共同研究分野、[7]熊本大学大学院 先導機構、[8]熊本大学大学院 生命科学研究部 製剤設計学分野、[9]第一薬科大学 臨床薬剤学分野、[10]姫路獨協大学 薬学部 薬理学教室、[11]熊本大学大学院 生命科学研究部 薬物活性学分野、[12]鳥取大学 研究推進機構 研究基盤センター、[13]佐賀大学 医学部 小児科、[14]熊本大学大学院 生命科学研究部 グローバル天然物科学研究センター 医薬品包装学寄附講座

（*は優秀発表賞応募演題）

……

12：10～13：10　　お昼休憩

……

13：10～14：10　　特別講演1　　第１会場【大講義室】

SL-1 「薬学部の将来はどうなるのか：一新設薬学部の事例を踏まえて」

講演：太田　　茂　　（和歌山県立医科大学・薬学部）
座長：長野 一也　　（和歌山県立医科大学・薬学部）

……

14：20～15：20　特別講演2　第１会場【大講義室】

SL-2 「疾患モデルマウスによる免疫異常の解析」

講演：改正 恒康　（和歌山県立医科大学・先端医学研究所）
座長：佐藤 慎太郎　（和歌山県立医科大学・薬学部）

……

15：30～17：10　一般演題（口頭）3　第１会場【大講義室】

座長：見野 靖晃（浜松医科大学病院・薬剤部）
　　井上 大輔（富山大学学術研究部・薬学・和漢系）

O-14* CYLD発現低下・予後不良トリプルネガティブ型乳癌に対するNF-κBシグナルを標的とした新規治療法
○新垣 ひとみ[1]、桑野 明香里[1]、平井 ちか[1]、西郷 智香[2]、金丸 歩美[1]、林 光博[3]、齋藤 秀之[1,2]、成田 勇樹[1,2]、城野 博史[1,2]
[1]熊本大学大学院 薬学教育部 臨床薬物動態学分野、[2]熊本大学病院 薬剤部、[3]熊本大学大学院 生命科学研究部 乳腺内分泌外科分野

O-15* 灌流型小腸－肝臓2臓器連結デバイスを用いたヒト凍結肝細胞の長期培養法の検討
○堺 陽子[1]、深谷 壮弥[2]、長田 茂宏[1]、岩尾 岳洋[2]、松永 民秀[2]
[1]和歌山県立医科大学 薬学部 生物化学研究室、[2]名古屋市立大学大学院 薬学研究科 臨床薬学分野

O-16* がん免疫アジュバントとしてのA型CpG核酸搭載脂質ナノ粒子の開発
○宗像 理紗[1]、青枝 大貴[2]、小山 正平[3,4]、小俣 大樹[1]、鈴木 悠乃[1]、岡田 欣晃[5]、吉岡 靖雄[2,5,6,7,8]、鈴木 亮[1,9]
[1]帝京大学 薬学部、[2]大阪大学 微生物病研究所、[3]大阪大学大学院 医学系研究科、[4]国立がん研究センター 先端医療開発センター、[5]大阪大学大学院 薬学研究科、[6]大阪大学 先導的学際研究機構、[7]一般財団法人 阪大微生物病研究会、[8]大阪大学 国際医工情報センター、[9]帝京大学 先端総合研究機構

O-17* 腫瘍浸潤CD8^{+} T細胞におけるCXCR4の発現概日リズムに基づいたCXCR4阻害剤の至適投与時刻の設定
○藤本 真理奈[1]、鶴田 朗人[1,2]、谷口 葵[1]、吉田 優哉[3]、松永 直哉[3]、小柳 悟[1,2]、大戸 茂弘[1]
[1]九州大学 薬学研究院 薬剤学分野、[2]九州大学 薬学研究院 グローカルヘルスケア分野、[3]九州大学薬学研究院 薬物動態学分野

O-18* CCR4阻害剤は、イミキモド誘発乾癬マウスの局所リンパ節におけるTh17細胞の増殖を抑制することにより、皮膚の炎症を抑制する。

○蔭山 雄太
近畿大学 薬学部 化学療法学研究室

O-19* COPA症候群モデルマウスにおけるI型IFNシグナルと間質性肺炎発症メカニズムの解析

○山本 明日美、加藤 喬、佐々木 泉、改正 恒康
和歌山県立医科大学 医学部 先端医学研究所 生体調節機構研究部

O-20* 腹腔常在マクロファージにおけるPyrinを介したインターロイキン-1β産生におけるETSファミリー転写因子SPIBの役割

○加治 汐梨[1]、佐々木 泉[2]、加藤 喬[2]、西山 奈央子[2]、山本 明日美[2]、改正 恒康[2]、北野 雅之[1]
[1]和歌山県立医科大学 内科学第二講座、[2]和歌山県立医科大学 先端医学研究所 生体調節機構研究部

O-21* デキサメタゾンが及ぼすPEG修飾ナノ粒子による抗PEG抗体誘導への影響

○高田 春風、清水 太郎、阿部 舜史、安藤 英紀、異島 優、石田 竜弘
徳島大学大学院 医歯薬学研究部 薬物動態制御学分野

（*は優秀発表賞応募演題）

……

17：20～ 18：20　一般演題（ポスター）第2会場【ホワイエ】

P-1 CRISPR-Cas9システムを用いて作製したα-シヌクレインノックアウトヒトiPS細胞を活用した神経毒に対する脆弱性の検討

○西村 周泰[1,2]、井上 自然[1]、儀間 芹奈[1]、中野 舞[1]、高田 和幸[1]
[1]京都薬科大学 統合薬科学系、[2]現所属：同志社大学大学院 脳科学研究科 脳回路機能創出部門

P-2 アクセサリータンパク質との相互作用によるSlc16a6/MCT7機能制御

○樋口 慧、國枝 美里、岸本 久直、井上 勝央
東京薬科大学 薬学部 薬物動態制御学教室

P-3* 非小細胞肺がん細胞株における細胞外小胞由来miR-130a-3pがオシメルチニブ耐性に及ぼ

す影響
○豊住 勇治[1]、新谷 拓也[2]、孫 于婷[1]、池村 健治[1,2]、奥田 真弘[1,2]
[1]大阪大学大学院 薬学研究科 病院薬剤学分野、[2]大阪大学医学部付属病院 薬剤部

P-4* モノカルボン酸輸送担体のがん微小環境における機能と基質輸送メカニズムに関する研究
○山口 敦史[1,2]、向井 悠斗[2]、佐久間 智也[2]、鳴海 克哉[2]、古堅 彩子[2]、山田 勇磨[2]、小林 正紀[2]
[1]北海道大学病院 薬剤部、[2]北海道大学 薬学部

P-5 粘液バリア機能に与える糖鎖合成酵素阻害剤Talniflumateの影響
○岸本 久直、鈴木 彩佳、宮崎 歌織、樋口 慧、井上 勝央
東京薬科大学 薬学部 薬物動態制御学教室

P-6* 光反射法を用いた肺内送達吸入薬物量のリアルタイム非侵襲的モニタリングシステムの構築
○畠添 咲希子[1]、平 大樹[1,2]、近藤 哲理[3]、上島 智[1]、岡野 友信[1]、寺田 智祐[2]、角本 幹夫[1]
[1]立命館大学 薬学部、[2]京都大学医学部附属病院 薬剤部、[3]湘南藤沢徳洲会病院 呼吸器内科

P-7 腫瘍組織血管内皮細胞特異抗体の機能特性評価
野村 鉄也、古川 舞、川島 優花、○宇都口 直樹
昭和薬科大学 薬剤学研究室

P-8* 腫瘍抑制遺伝子 CYLD 発現低下による口腔扁平上皮癌の予後不良症例に対するEGFR分子標的薬の有用性
○金丸 歩美[1]、末永 尚輝[1]、甲斐 美水[1]、連川 奏恵[1]、小関 利弥[1]、内野 翔太[1]、米丸 興[1]、三宅 俊介[1,2]、増田 豪[3]、刈谷 龍昇[4]、吉田 遼治[5]、中山 秀樹[5]、神力 悟[6]、齋藤 秀之[1,2]、城野 博史[1,2]
[1]熊本大学大学院 薬学教育部 創薬生命薬科学専攻 臨床薬物動態学分野、[2]熊本大学病院 薬剤部、[3]熊本大学大学院 生命科学研究部 微生物薬学分野、[4]熊本大学 ヒトレトロウイルス共同研究センター 造血・腫瘍制御学分野 、[5]熊本大学大学院 生命科学研究部 歯科口腔外科学分野、[6]熊本大学大学院 生命科学研究部 臨床病態解析学分野

P-9 ラットを用いたドキソルビシン・シクロホスファミド誘発不安様行動に対する釣藤鉤含有漢方薬の単回投与および反復投与の影響
○岩田 直大[1]、牛尾 聡一郎[1]、江角 悟[1]、濱野 裕章[1]、北村 佳久[2]、座間味 義人[1]
[1]岡山大学病院 薬剤部、[2]就実大学 薬学部 薬物治療学

P-10* 慢性および急性炎症がシトクロムP450の発現および誘導に及ぼす影響
○林 紅瑠実、藤野 智恵里、久保 幸音、上島 智、桂 敏也
立命館大学 薬学部

P-11* 慢性腎臓病における新規非共有結合型Keap1-Nrf2阻害薬の腎保護効果

○堀園 潤[1]、加世田 将太[1]、三宮 裕也[1]、桑水流 淳[1]、小木 彩矢佳[2]、佐々木 亮子[1]、砂本 秀人[2]、吹屋 洋彦[2]、西山 勇人[2]、Mary Ann Suico [1]、奈良 太[2]、首藤 剛[1]、大沼 和弘[2]、甲斐 広文[1]
[1]熊本大学 薬学教育部 遺伝子機能応用学分野、[2]UBE株式会社 医薬研究所

P-12* 食物アレルギーモデルマウスにおけるCCR4の関与

○大塚 優里佳[1]、本澤 龍茉[1]、松尾 一彦[1]、長尾 遥佳[1]、原 雄大[1]、義江 修[2,3]、中山 隆志[1]
[1]近畿大学 薬学部、[2]近畿大学 医学部、[3]健康漢方研究所

P-13 ヒトiPS細胞由来腸管上皮細胞（F-hiSIEC^{TM}）の特徴と創薬への応用

○美馬 伸治[1]、今倉 悠貴[2]、山崎 奈穂[2]、望月 清一[2]、猪又 晃[2]、岩尾 岳洋[3]、松永 民秀[3]、遠藤 摂[2]、永田 幸三[2]、柿沼 千早[1]
[1]和歌山県立医科大学 次世代医療研究センター 次世代がん創薬共同研究講座、[2]富士フイルム株式会社バイオサイエンス＆エンジニアリング研究所、[3]名古屋市立大学大学院 薬学研究科 臨床薬学分野

P-14 CDK4/6阻害薬アベマシクリブによる抗腫瘍効果および上皮間葉転換誘発の関連解析

○川見 昌史、吉盛 智世、湯元 良子、高野 幹久
広島大学大学院 医系科学研究科

P-15* 高酸素培養が肝細胞に蓄積した脂質におよぼす影響とその調節機構の検討

○大月 佑也[1]、佐能 正剛[1,2]、山尾 美香留[3]、小島 夕葉[3]、山崎 ちひろ[3]、古武 弥一郎[1]、立野 知世[2,3]
[1]広島大学大学院 医系科学研究科、[2]和歌山県立医科大学 薬学部、[3]株式会社フェニックスバイオ 研究開発部

P-16 アルギニンの添加によるプロプラノロール塩酸塩テープ剤の皮膚透過性改善

○樋村 彩恵[1]、原口 七海[1]、岡本 憲明[2]、浦松 俊治[2]、吉村 美佳[1]、深水 啓朗[1]
[1]明治薬科大学、[2]大同化成工業

P-17* 酸化LDL標識体を用いた動脈硬化モデルマウスにおける泡沫化マクロファージを標的とした動脈硬化巣バイオイメージングの検討

○井澤 満[1]、河嶋 秀和[2]、奥野 結衣[1]、中谷 純菜[1]、石原 慶一[3]、秋葉 聡[3]、高田 和幸[1]
[1]京都薬大 統合薬科学、[2]京都薬大 放射性同位元素研セ、[3]京都薬大 病態生化学

P-18 *in vitro*血管閉塞モデルを用いた超音波による血管閉塞予防効果の検討

○澤口 能一[1,2]、清水 歩未[1]、王 作軍[2]、大沼 健太郎[1]、山本 博之[3]、中田 典生[2]
[1]桐蔭横浜大学 医用工学部 生命医工学科、[2]東京慈恵会医科大学 総合医科学研究センター 人工知能医学研究部、[3]日本薬科大学 生命科学薬学分野

P-19* 小腸透過環状ペプチドとインスリンアナログを用いた経口持効型インスリンの基盤構築

○坂口 皇聖[1]、伊藤 慎悟[1,2,3]、近松 翔馬[2]、増田 豪[1,2,3]、大槻 純男[1,2,3]
[1]熊本大学 薬学部、[2]熊本大学大学院 薬学教育部、[3]熊本大学大学院 生命科学研究部（薬）

P-20 高脂肪食負荷糖尿病モデルマウスにおける脳関門および脳実質のタンパク質発現および機能変動の解明

○伊藤 慎悟[1,2]、緒方 星陵[2]、増田 豪[1,2]、大槻 純男[1,2]
[1]熊本大学大学院 生命科学研究部、[2]熊本大学大学院 薬学教育部

P-21* アルギニンペプチド修飾型マイクロベジクルのマクロピノサイトーシス誘導と薬物送達応用

○森本 健太[1]、野口 公輔[1]、中瀬 朋夏[2,3]、二木 史朗[4]、金田 雅充[5]、中瀬 生彦[1]
[1]大阪公立大学大学院 理学研究科 生物化学専攻、[2]武庫川女子大学 薬学部、[3]武庫川女子大学 バイオサイエンス研究所、[4]京都大学 化学研究所、[5]ミシガン州立大学 薬理毒性学科

P-22* 方向性を考慮した新規の薬効予測アルゴリズムの開発

○東 一織
東京大学大学院 薬学系研究科 分子薬物動態学教室

P-23 ウアバゲニンは脂肪肝を誘導しない LXR リガンドとして尿細管細胞の上皮性 Na チャネル発現抑制効果を示す

○田村 理[1,6]、岡田 麻衣子[2]、加藤 茂明[3]、篠田 康晴[4]、塩田 倫史[4]、福永 浩司[4]、宇井-程 久美子[5]、上田 実[6]
[1]和歌山県立医大 薬学部、[2]東京工科大学 応用生物学部、[3]医療創成大学 地域連携センター、[4]東北大学大学院 薬学研究科、[5]東京大学大学院 理学系研究科、[6]東北大学大学院 理学研究科

P-24 乳がん幹細胞様細胞の機能制御における亜鉛と亜鉛トランスポーターの重要性

崎谷 愛未[1]、松井 千紘[1]、中瀬 生彦[2]、○中瀬 朋夏[1,3]
[1]武庫川女子大学 薬学部 薬剤学研究室、[2]大阪公立大学大学院 理学研究科 生物化学専攻、[3]武庫川女子大学 バイオサイエンス研究所

P-25* 組織常在マクロファージにおける ETS ファミリー転写因子 SPIB の役割

○脇村 一輝[1]、加治 汐梨[1]、佐々木 泉[2]、加藤 喬[2]、谷本 将邦[1]、藤村 憲史[1]、改正 恒康[1]
[1]和歌山県立医科大学 医学部 先端医学研究所 生体調節機構研究部、[2]和歌山県立医科大学 医学部 第二内科

P-26　音声感情解析 AI ソフトウェアを活用した医療コミュニケーションにおける感情の可視化に関する初期検討

〇馬渕 はづき[1]、仁木 一順[1,2,3]、岡本 禎晃[3]、江頭 佐都美[4]、池田 賢二[1,2]、上田 幹子[1,2]
[1]大阪大学 薬学部、[2]大阪大学大学院 薬学研究科、[3]市立芦屋病院 薬剤科、[4]市立芦屋病院 看護局

P-27*　機械学習に基づく BCRP 阻害剤の予測

〇中込 昂希[1]、川端 崇義[2]、牛尾 聡一郎[2]、濱野 裕章[1,2]、座間味 義人[1,2]
[1]岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 臨床薬剤学、[2]岡山大学病院 薬剤部

P-28　精子無力症の分子機序解明にむけた、銅曝露環境下における緑藻 *Chlamydomonas reinhardtii* のストレス応答機構解析

〇吉本 梨紗[1]、堤 崚太郎[2]、平田 収正[1,2]、長野 一也[1,2]
[1]大阪大学大学院 薬学研究科、[2]和歌山県立医科大学 薬学部

P-29　角層細胞間脂質モデルの組成変化による皮膚バリア機能への影響

〇前原 玲奈[1]、後藤 裕[1]、寺山 涼子[2]、深水 啓朗[1]
[1]明治薬科大学 分子製剤学研究室、[2]ミロット

P-30*　難消化性デキストリンの有効活用を目指した、中性脂肪低下作用に対する食べ合わせ/飲み合わせの解析

〇原田 実季[1]、中尾 友洋[1,2]、木下 圭剛[2]、坂田 慎[2]、西野 雅之[2]、山下 琢矢[3]、長野 一也[3]
[1]大阪大学大学院 薬学研究科、[2]三栄源エフ・エフ・アイ株式会社、[3]和歌山県立医科大学 薬学部

（*は優秀発表賞応募演題）

10 月 30 日（日）

9：00～10：20　　一般演題（口頭）4　　第 1 会場【大講義室】

座長：中川 俊作（京都大学医学部付属病院・薬剤部）
　　前田 仁志（熊本大学大学院・薬学研究科）

O-22* GLUT12/SLC2A12は脳内のビタミンC濃度を制御するトランスポーターである
○宮田 大資[1]、豊田 優[1,2]、鈴木 洋史[1]、高田 龍平[1]
[1]東京大学医学部附属病院 薬剤部、[2]防衛医科大学校 分子生体制御学講座

O-23* ヒト胎盤栄養膜細胞(BeWo細胞)が分泌する細胞外小胞の分泌元細胞への再取り込み機構
○中野 瑛介[1]、稲垣 舞[2]、立川 正憲[2]
[1]徳島大学大学院 薬学研究科、[2]徳島大学大学院 医歯薬学研究部(薬学域)

O-24* ボノプラザン、プロトンポンプ阻害剤ががん細胞の VEGF 発現に与える影響の違い
○安藤 里英[1,2]、八木 健太[1,3]、岡本 尚大[1,2]、髙岡 麻佑[1]、相澤 風花[1,2]、新村 貴博[1,3]、石澤 有紀[4]、合田 光寛[1,2]、石澤 啓介[1,2,3]
[1]徳島大学大学院 医歯薬学研究部 臨床薬理学、[2]徳島大学病院 薬剤部、[3]徳島大学病院 総合臨床研究センター、[4]徳島大学大学院 医歯薬学研究部 薬理学

O-25* 界面活性剤による角質細胞間脂質の溶出および構造変化
○奈倉 百香[1]、後藤 裕[1]、寺山 涼子[2]、深水 啓朗[1]
[1]明治薬科大学、[2]株式会社ミロット

O-26* ミトコンドリア膜透過性遷移を起点とした肝障害発症過程における血小板活性化の関与
○竹村 晃典、池山 佑豪、伊藤 晃成
千葉大学大学院 薬学研究院 生物薬剤学研究室

O-27* エストロゲン受容体陽性乳がんに対する亜鉛を利用した新治療戦略の開発
○崎谷 愛未[1]、中瀬 朋夏[1,2]
[1]武庫川女子大学 薬学部 薬剤学研究室、[2]武庫川女子大学 バイオサイエンス研究所

（*は優秀発表賞応募演題）

……

10：30～12：10 歴代 YCPS 優秀発表賞受賞者による
キャリア形成シンポジウム 第１会場【大講義室】

座長：中瀬 朋夏（武庫川女子大学・薬）
平井 啓太（信州大学医学部附属病院・薬剤部）

S-1 「細胞膜タンパク質の発現リズムが形成する肝脂肪酸取り込みリズム」

講演：鶴留 優也先生（山口東京理科大学・薬学部） 【第10回大会受賞】

S-2 「優秀発表賞を受賞してから、病院薬剤師として働く今日まで」

講演：中村 浩規先生（群馬大学医学部附属病院・薬剤部） 【第７回大会受賞】

S-3 「キャリアアップにおける異分野交流・連携の重要性」

講演：河野 裕允先生（神戸薬科大学・薬学部） 【第5回大会受賞】

S-4 「尿酸とトランスポーターと私」

講演：高田 龍平先生（東京大学医学部附属病院・薬剤部） 【第4回大会受賞】

……

12：10～13：10 お昼休憩

……

13：10～14：10 教育講演 第１会場【大講義室】

EL-1 「学会における若手世話人の立ち位置とその後の研究生活」

講演：久米 利明（富山大学学術研究部 薬学・和漢系）
座長：赤池 昭紀（和歌山県立医科大学・薬学部）

14：20～16：00　　一般演題（口頭）5　　第１会場【大講義室】

座長：　池村 健治（大阪大学医学部附属病院・薬剤部）
　　山下 琢矢（和歌山県立医科大学・薬学部）

O-28* 小児肝臓難病におけるグラフト機能不全の発症機構解明と治療法の提案
○田村 隆太郎[1]、佐分 雄祐[1]、水野 忠快[1]、楠原 洋之[1]、安藤 智広[2]、林 久允[1]
[1]東京大学大学院 薬学系研究科 分子薬物動態学教室、[2]Axcelead Drug Discovery Partners 株式会社

O-29* キメラ型HLA-B*57:01遺伝子導入マウスを用いたアバカビル誘発特異体質性毒性の評価
○風岡 顯良[1]、熊谷 和善[2]、松下 隼也[2]、間 哲生[2]、桑原 佐季[1]、青木 重樹[1]、伊藤 晃成[1]
[1]千葉大学大学院 薬学研究院、[2]第一三共株式会社 安全性研究所

O-30* トロゴサイトーシスによる免疫活性化機構
○豊浦 早織、堀 亜里沙、加納 康隆、中山 勝文
立命館大学 薬学部 免疫微生物学研究室

O-31* ラットモデルを用いたリトドリンによる新生児低血糖発現メカニズムのメタボロミクス解析
○梶野 真由[1]、藤田 有美[1,2]、嶋田 努[1,2]、崔 吉道[1,2]
[1]金沢大学大学院 医薬保健学総合研究科 臨床薬理動態学、[2]金沢大学附属病院 薬剤部

O-32* 嗅上皮と鼻粘液に存在する異物代謝酵素によるアルデヒド匂い物質の代謝
○高岡 尚輝[1,2]、佐能 正剛[1,2]、古武 弥一郎[2]、Mariam Esmaeeli[3]、Silke Leimkuhler[3]、Mami Kurosaki[4]、Mineko Terao[4]、Enrico Garattini[4]、酒谷 英樹[5]、村上 大地[5]、河野 正充[5]、保富 宗城[5]、太田 茂[1,2]
[1]和歌山県立医科大学 薬学部、[2]広島大学大学院 医系科学研究科、[3]ポツダム大学、[4]マリオネグリ薬理学研究所、[5]和歌山県立医科大学 医学部

O-33 アブセッサス菌に対して相乗効果が期待できる抗菌薬の探索
北川 結惟[1]、篠原 基子[1]、熊懐 香葉[1]、佐々木 俊治[2]、土井 洋平[1,2]、○港 雄介[1]
[1]藤田医科大学医学部 微生物学講座、[2]藤田医科大学医学部 感染症科

O-34* 生体適合MPCポリマーの併用は市販点眼液のドライアイ治療効果を高める
○出口 粧央里[1]、油納 美和[1]、小坂 太陽[1]、大竹 裕子[1]、鷲見 梓[2]、笹木 友美子[2]、原 真佐夫[2]、原

田 英治[2]、長井 紀章[1]
[1]近畿大学 薬学部、[2]日油株式会社 ライフサイエンス事業部

O-35 オキサリプラチン誘発末梢神経障害マウスモデルで生じる感覚過敏および感覚障害の再評価

○山中 凜太朗[1]、荻原 孝史[1,2]、山本 京奈[1]、今井 哲司[1,2]、米澤 淳[1,2]、中川 俊作[1,2]、平 大樹[1,2]、中川 貴之[1,2]、寺田 智祐[1,2]
[1]京都大学 薬学部 医療薬剤学分野、[2]京都大学医学部附属病院 薬剤部

（*は優秀発表賞応募演題）

……

16：00～16：15　　閉会式　　第１会場【大講義室】